

1. 全般的説明

(1) 資金収支では、22年度は学生生徒数が横這いであったが、短期大学学生数の増加により学生生徒等納付金収入は増加した。短期大学の補助金増加および高等学校の耐震工事補助金により補助金収入は増加した。

21年度より、人件費および管理経費の削減に努め、収支の改善をはかっている。

高等学校の校舎耐震工事で91,140千円支出し、補助金25,234千円が耐震工事の補助金として収入に計上した。

(2) 消費収支は支出超過となっているが、帰属収支では為替差損の特殊要因を除くと改善しており、今年度は収入超過となっている。

(3) 貸借対照表では、借入金償還により負債比率が低下している。外部負債12億円に対し、運用資産83億円と高い健全性を維持している。